

静岡県焼津市 漁師の仕事！船と漁業を知る授業② 漁船員の仕事を学ぶ

5 月 31 日、一般社団法人全国漁業就業者確保育成センターが主催し、全日本海員組合が後援する「漁師の仕事！船と漁業を知る授業」が、遠洋漁業の基地として知られる静岡県焼津市で開催された。この漁業就業ガイダンスは、実際に漁船を見てから就職ガイダンスに臨むという企画で、静岡県立焼津水産高等学校をはじめ、北海道、岩手県、山形県、千葉県、東京都、愛知県、富山県、島根県、沖縄県の各水産・海洋系の高等学校から約 100 人、県内外の小・中学校から約 40 人と生徒の保護者、漁業関係者など総勢 260 人が参加した。

漁師の仕事！船と漁業を知る授業

5 月 31 日の午前 9 時から「漁師の仕事！船と漁業を知る授業」が開催された。開会式は、静岡県立焼津水産高等学校の沼里智彦校長のあいさつに続き、焼津まぐろ漁業株式会社の立林雄祐常務取締役から、船内では頭上や足元に気を付けることや、船内の機器に触れないよう安全指導などが行われた。その後、記念撮影を行い、高校生グループと中学生グループに分かれ、漁業について学んだ。

午前の部 船内見学会

午前の部は、焼津港に入港中の株式会社いちまる所属海外まき網漁船「第十八松友丸」と福龍漁業株式会社所属遠洋マグロはえ縄漁船「第二十一福龍丸」、静岡県立焼津水産高等学校の実習船「やいづ」の船内を見学した。

船内見学では、乗組員や関係者が船橋や機関室、居住区を案内し、生徒たちから船内での生活や操業などについての質問があり、担当者が丁寧に説明を行った。また、海外まき網漁船の見学では、普段入ることのできないヘリポートに上り、興奮を隠しきれないようすも見られた。

「海員だより」